

# 調査開始以来、 京都銀行が16年連続首位 上位3行庫でシェア7割強

「京都市内」は京都中央信金が首位

## 京都府・メインバンク動向調査（2025年）



本件照会先

野田 圭祐（調査担当）  
帝国データバンク  
京都支店 情報部  
075-223-5111（代表）  
問合せ先：kyotojoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/12/26

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、  
私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2025年メインバンク調査では、京都銀行が調査開始以来16年連続首位となり、京都中央信金、京都信金が続いた。業態別では、「信用金庫」「地方銀行」「都市銀行（メガバンク）」とともにシェアを落とした一方、「ネット銀行」はシェアを伸ばした。地域別では、京都市は京都中央信金、府北部は京都北都信金がトップとなった。業種別では、京都中央信金が「建設業」「不動産業」でトップとなった。

※帝国データバンク京都支店では、2025年10月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約150万社収録、特殊法人・個人事業主含む）をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。同調査は2024年12月に続き16回目

[注] 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

## 調査開始以来、16年連続で京都銀行がランキングトップ

企業がメインバンクとして認識している金融機関の京都府内トップは、府内唯一の地銀で「ながい、おつきあい」「飾らない銀行」が企業キャッチフレーズの「京都銀行」。同行をメインバンクとする企業数は9,729社（前年9,696社）となり、前年より33社増加した。全体（31,046社）の31.3%（同31.6%）を占め、調査開始以来16年連続でトップとなった。

2位は信用金庫として預金量・貸金量とも全国でトップクラスにランクされる「京都中央信金」の7,985社（同7,936社）で、前年比49社増となり、構成比25.7%（同25.8%）となった。

3位は「コミュニティ・バンク京信」の呼称で営業展開する「京都信金」。4,399社（同4,366社）で、前年より33社増加、構成比は14.2%（同14.2%）となった。規模的には京都銀行、京都中央信金に次いで第3位ながら、2行庫よりも歴史は長く、2023年9月に創立100周年を迎えた。上位3行庫の順位は調査開始以来変わらず、構成比は71.2%と前回調査の71.6%に比べ0.4ポイント低下したが、上位3行庫で7割強を占めた。

4位は「京都北都信金」で、2,017社（同2,037社）、構成比6.5%（同6.6%）となった。府北部と、亀岡市など中部をカバー、確固たる基盤を有するが、社数は前年を下回った。5位「三菱UFJ銀行」、6位「三井住友銀行」、7位「滋賀銀行」、8位「みずほ銀行」、9位「南都銀行」、10位「りそな銀行」となった。前回とトップ10の顔ぶれに変動はなかった。

11位以下でも大きな変動は見られなかつたが、「但馬」「京都農協」「商工中金」などが順位を下げた一方、「近畿産業信組」「福邦」などが社数を伸ばし、順位を上げた。

京都府メインバンクシェア上位30位

順位	取引銀行名	社数	2025年		2024年			
			前年比	シェア	順位	社数	前年比	
1	京都	9,729	+33	31.3%	1	9,696	+47	31.6%
2	京都中央信金	7,985	+49	25.7%	2	7,936	+98	25.8%
3	京都信金	4,399	+33	14.2%	3	4,366	+25	14.2%
4	京都北都信金	2,017	▲ 20	6.5%	4	2,037	+15	6.6%
5	三菱UFJ	1,374	▲ 5	4.4%	5	1,379	▲ 23	4.5%
6	三井住友	796	▲ 15	2.6%	6	811	▲ 5	2.6%
7	滋賀	790	+4	2.5%	7	786	▲ 4	2.6%
8	みずほ	696	▲ 4	2.2%	8	700	▲ 11	2.3%
9	南都	633	▲ 1	2.0%	9	634	+8	2.1%
10	りそな	377	▲ 7	1.2%	10	384	▲ 13	1.3%
11	関西みらい	289	▲ 9	0.9%	11	298	+7	1.0%
12	ゆうちょ	122	+13	0.4%	12	109	±0	0.4%
13	京滋信組	74	+1	0.2%	13	73	▲ 2	0.2%
14	近畿産業信組	54	+3	0.2%	17	51	+4	0.2%
15	但馬	53	+1	0.2%	14	52	±0	0.2%
16	福邦	51	+3	0.2%	18	48	+2	0.2%
17	京都農協	50	+1	0.2%	15	49	▲ 2	0.2%
18	商工中金	48	+1	0.2%	16	47	▲ 2	0.2%
19	中兵庫信金	43	▲ 3	0.1%	19	46	+1	0.2%
20	北陸	26	±0	0.1%	20	26	+1	0.1%
21	京都やましろ農協	23	▲ 1	0.1%	24	24	+3	0.1%
21	枚方信金	23	±0	0.1%	26	23	+3	0.1%
23	京都中央農協	22	±0	0.1%	22	22	±0	0.1%
23	池田泉州	22	▲ 2	0.1%	20	24	▲ 1	0.1%
23	福井	22	+1	0.1%	24	21	±0	0.1%
26	京都丹の国農協	20	±0	0.1%	22	20	▲ 2	0.1%
27	PayPay	19	+1	0.1%	28	18	+5	0.1%
28	住信SBIネット	17	+9	0.1%	40	8	+2	0.0%
29	三井住友信託	16	▲ 2	0.1%	27	18	±0	0.1%
30	楽天	14	+4	0.1%	31	10	±0	0.0%

## 「信用金庫」「地方銀行」「メガバンク」が低下 「ネット銀行」が上昇

業態別にみると、シェアが最も高いのは「信用金庫」（シェア 46.79%、前年比 0.30 ポイント減）となり、全業態のなかでは唯一 7 年連続でシェア 4 割を超えた。2 位が「地方銀行」（同 37.43%、同 0.34 ポイント減）、3 位が「都市銀行（メガバンク）」（同 10.46%、同 0.21 ポイント減）となった。ただ、前年比ではこれら 3 業態はシェアを落とした。

京都府の特色としては、他の都道府県と比較すると「信用金庫」の比率が高く、5 割に迫るシェアとなっているが、前年比では 0.30 ポイント減となり、2023 年以降 3 年連続の減少となった。「地方銀行」は 6 年連続の減少、「都市銀行（メガバンク）」は 3 年連続で 11% を下回った。

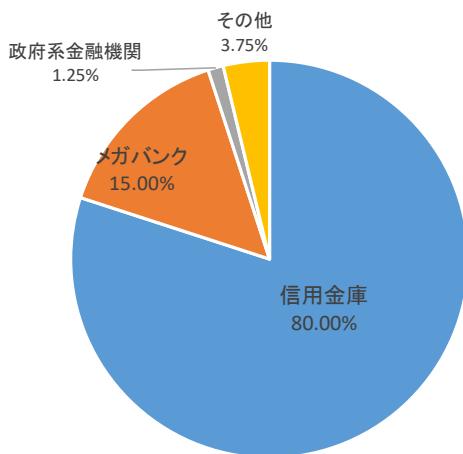
「地方銀行」「都市銀行（メガバンク）」とともに、調査開始の 2009 年以降で最小となった。

一方で、「第二地銀」は同 0.01 ポイント増の 0.22% となったほか、「ネット銀行など新形態の銀行（以下、ネット銀行）」は 0.20%（前年は 0.13%）となり、微増ながら 5 年連続でシェアを拡大させ、「第二地銀」（0.22%）に迫る水準に上昇した。

業態別シェア(京都府)上位順													
調査年	信用金庫	地方銀行	都市銀行 (メガバンク)	農協	信用組合	その他の 金融機関	第二地銀	政府系 金融機関	ネット銀行など新 形態の銀行	信託銀行	労働金庫	漁協	(%)
2019	45.97	38.60	11.88	0.46	0.37	0.36	0.22	0.20	0.05	0.10	0.05	0.04	
2020	46.12	38.42	11.75	0.46	0.37	0.34	0.21	0.19	0.05	0.10	0.05	0.04	
2021	46.45	38.32	11.54	0.46	0.40	0.30	0.19	0.19	0.07	0.11	0.04	0.04	
2022	46.84	38.14	11.21	0.45	0.42	0.28	0.19	0.19	0.08	0.11	0.05	0.03	
2023	47.19	38.03	10.97	0.44	0.42	0.40	0.19	0.19	0.11	0.11	0.04	0.03	
2024	47.09	37.77	10.67	0.43	0.42	0.40	0.21	0.19	0.13	0.10	0.04	0.03	
<b>2025</b>	<b>46.79</b>	<b>37.43</b>	<b>10.46</b>	<b>0.43</b>	<b>0.43</b>	<b>0.44</b>	<b>0.22</b>	<b>0.19</b>	<b>0.20</b>	<b>0.08</b>	<b>0.05</b>	<b>0.03</b>	
前年比	▲ 0.30	▲ 0.34	▲ 0.21	±0.00	+0.01	+0.04	+0.01	±0.00	+0.07	▲ 0.02	+0.01	±0.00	

2024～25 年調査にかけてメインバンクを「地方銀行」から変更した企業 80 社の動向をみると、変更先として最も多いのが「信用金庫」の 64 社（構成比 80.00%）だった。中小零細を中心に、より地域や経営に密着した信用金庫に変更する動きが進んでいる可能性がある。次いで「メガバンク」（12 社、構成比 15.00%）、「その他」（3 社）、「政府系金融機関」（1 社）が続いた。

メインバンクを「地方銀行」から  
変更した80社(2024年→25年)



[注]「地方銀行」間の変更は除く

## 地域別ランキング

地域別では京都府を京都市、山城、乙訓、南丹、中丹、丹後の 6 つの地域に分けた。

### 【京都市】

京都市に本社を置く企業のメインバンクを見ると、1 位は「京都中央信金」の 5,954 社（前回 5,903 社）、構成比 30.1%（同 30.2%）で、地域別では前回調査に続き 1 位となった。2 位の「京都銀行」は 5,708 社（同 5,687 社）、構成比 28.8%（同 29.1%）となった。2 行庫の差は 246 社と前回調査時の 216 社から拡大した。

トップ 10 の顔ぶれに変動はなく、トップ 3 は全てがメインバンク社数を増やした。一方、4 位から 10 位ではメインバンク社数を減らす金融機関が多いなか、5 位の「滋賀銀行」、10 位の「ゆうちょ銀行」が社数を増やした。

京都市メインバンク社数 上位10行庫

順位	金融機関名	社数	構成比
1 (1)	京都中央信金	5,954	30.1%
2 (2)	京都	5,708	28.8%
3 (3)	京都信金	3,233	16.3%
4 (4)	三菱UFJ	1,181	6.0%
5 (5)	滋賀	695	3.5%
6 (6)	三井住友	662	3.3%
7 (7)	みずほ	613	3.1%
8 (8)	りそな	313	1.6%
9 (9)	関西みらい	232	1.2%
10 (10)	ゆうちょ	97	0.5%

※()内は前年順位

### 【山城地区】

府南部の山城地域では、1 位は「京都銀行」の 1,845 社（前回 1,828 社）、構成比 34.7%（同 34.7%）。2 位は「京都中央信金」の 1,560 社（同 1,554 社）、構成比 29.3%（同 29.5%）。2 行庫とともに、社数を伸ばした。

3 位は奈良県に本店を置く「南都銀行」となり、隣接エリアへ進出していることがうかがえる。

トップ 10 の顔ぶれ、順位に変動はなかった。

山城地区メインバンク社数 上位10行庫

順位	金融機関名	社数	構成比
1 (1)	京都	1,845	34.7%
2 (2)	京都中央信金	1,560	29.3%
3 (3)	南都	608	11.4%
4 (4)	京都信金	577	10.8%
5 (5)	三菱UFJ	124	2.3%
6 (6)	三井住友	98	1.8%
7 (7)	滋賀	73	1.4%
8 (8)	みずほ	48	0.9%
9 (9)	関西みらい	44	0.8%
10 (10)	りそな	37	0.7%

※()内は前年順位

### 【乙訓地区】

乙訓地区では、1 位は「京都銀行」で 380 社（前回 383 社）、構成比 34.2%（同 34.4%）となった。

2 位は「京都中央信金」で、338 社（同 346 社）、構成比 30.5%（同 31.1%）とトップ 2 のメインバンク社数、構成比ともに減少した。トップ 5 の顔ぶれ、順位に変動はなかった。

乙訓地区メインバンク社数 上位5行庫

順位	金融機関名	社数	構成比
1 (1)	京都	380	34.2%
2 (2)	京都中央信金	338	30.5%
3 (3)	京都信金	195	17.6%
4 (4)	三菱UFJ	44	4.0%
5 (5)	みずほ	22	2.0%

※()内は前年順位

## 【南丹地区】

南丹地区では、1位が「京都銀行」で769社（前回772社）、構成比50.6%（同51.0%）となった。

2位は「京都信金」が391社（同386社）、構成比25.7%（同25.5%）と社数を伸ばした。3位の「京都中央信金」は133社（同133社）、構成比8.7%（8.8%）となった。

トップ5の顔ぶれ、順位に変動はなかった。

### 南丹地区メインバンク社数 上位5行庫

順位	金融機関名	社数	構成比
1 (1)	京都	769	50.6%
2 (2)	京都信金	391	25.7%
3 (3)	京都中央信金	133	8.7%
4 (4)	京都北都信金	82	5.4%
5 (5)	京都農協	26	1.7%

※()内は前年順位

## 【中丹地区】

中丹地区では、「京都北都信金」が1,220社（前回1,230社）、構成比56.1%（同56.7%）で1位となった。2位は「京都銀行」で687社（同678社）、構成比31.6%（同31.3%）。

3位以下は、「福邦銀行」「中兵庫信金」「但馬銀行」と、隣接する近隣県に本店を持つ金融機関の進出が見て取れる。

「中兵庫信金」の社数が減少した一方、「福邦銀行」が社数を伸ばし、3位と4位を入れ替わった。

### 中丹地区メインバンク社数 上位5行庫

順位	金融機関名	社数	構成比
1 (1)	京都北都信金	1,220	56.1%
2 (2)	京都	687	31.6%
3 (4)	福邦	44	2.0%
4 (3)	中兵庫信金	43	2.0%
5 (5)	但馬	29	1.3%

※()内は前年順位

## 【丹後地区】

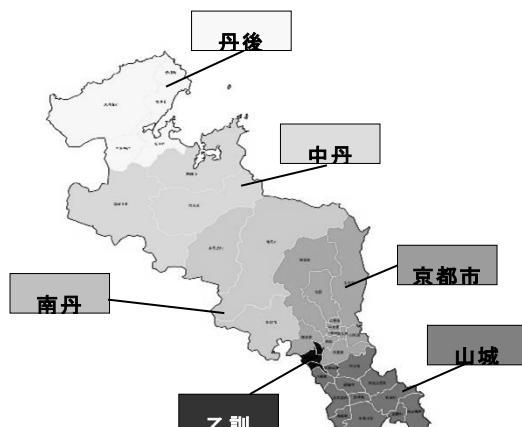
京都府最北端の丹後地区では、当地に本店を置く「京都北都信金」が708社（前回715社）、構成比63.5%（同63.7%）で1位となった。次いで「京都銀行」が340社（同348社）、構成比30.5%（同31.0%）となった。この2行庫で94.0%（同94.7%）を占める。

トップ3の顔ぶれ、順位に変動はなかった。

### 丹後地区メインバンク社数 上位3行庫

順位	金融機関名	社数	構成比
1 (1)	京都北都信金	708	63.5%
2 (2)	京都	340	30.5%
3 (3)	京都農協	18	1.6%

※()内は前年順位



※「山城」は宇治市以南、「乙訓」は向日市、長岡京市、乙訓郡、「南丹」は亀岡市、南丹市、船井郡、「中丹」は福知山市、舞鶴市、綾部市、「丹後」は京丹後市、宮津市、与謝郡で分類した。

## 業種別ランキング

業種別にみると、「京都銀行」が『製造業』『卸売業』『小売業』『運輸・通信業』『サービス業』『その他』の6業種で1位となった。いずれの業種も、2位以下を大きく突き放す。また、その他の2業種では2位となった。

「京都中央信金」は、『建設業』『不動産業』の2業種で1位となり、『不動産業』においては、35.1%と他行庫を突き放す。その他の6業種では2位につけている。「京都信金」は、全業種で3位となったが、2位との差は『製造業』では2.1ポイント、『その他』では2.3ポイントと僅差となっている。

各業種とも順位に大きな変動はなかったが、『卸売業』では「三井住友銀行」が社数を減らした一方、「京都北都信金」が社数を伸ばし、7位と8位が入れ替わった。

京都府 業種別メインバンクシェア上位

順位	建設業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都中央信金	3,299	33.2%	1	3,254	32.7%
2	京都	3,046	30.6%	2	3,055	30.7%
3	京都信金	1,320	13.3%	3	1,313	13.2%
4	京都北都信金	914	9.2%	4	940	9.5%
5	南都	292	2.9%	5	293	3.0%
6	滋賀	204	2.1%	6	201	2.0%
7	三菱UFJ	171	1.7%	7	182	1.8%
8	関西みらい	113	1.1%	8	120	1.2%
9	三井住友	104	1.1%	9	106	1.1%
10	みずほ	73	0.7%	10	77	0.8%

順位	製造業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都	1,386	35.8%	1	1,400	35.7%
2	京都中央信金	799	20.6%	2	810	20.7%
3	京都信金	715	18.5%	3	721	18.4%
4	三菱UFJ	240	6.2%	4	246	6.3%
5	京都北都信金	150	3.9%	5	152	3.9%
6	三井住友	127	3.3%	6	130	3.3%
7	みずほ	125	3.2%	6	130	3.3%
8	滋賀	122	3.2%	8	121	3.1%
9	南都	64	1.7%	9	63	1.6%
10	りそな	55	1.4%	10	57	1.5%

順位	卸売業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都	1,194	32.7%	1	1,224	32.9%
2	京都中央信金	837	22.9%	2	841	22.6%
3	京都信金	549	15.0%	3	552	14.8%
4	三菱UFJ	272	7.4%	4	282	7.6%
5	みずほ	175	4.8%	5	172	4.6%
6	滋賀	137	3.8%	6	138	3.7%
7	京都北都信金	133	3.6%	8	130	3.5%
8	三井住友	125	3.4%	7	133	3.6%
9	りそな	72	2.0%	9	76	2.0%
10	南都	57	1.6%	10	60	1.6%

順位	小売業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都	915	29.6%	1	925	29.5%
2	京都中央信金	707	22.9%	2	722	23.0%
3	京都信金	581	18.8%	3	578	18.4%
4	京都北都信金	315	10.2%	4	316	10.1%
5	三菱UFJ	122	3.9%	5	124	4.0%
6	三井住友	82	2.7%	6	87	2.8%
7	滋賀	66	2.1%	7	68	2.2%
8	みずほ	65	2.1%	7	68	2.2%
9	南都	56	1.8%	9	60	1.9%
10	りそな	45	1.5%	10	47	1.5%

順位	運輸・通信業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都	233	30.4%	1	242	31.5%
2	京都中央信金	182	23.7%	2	179	23.3%
3	京都信金	138	18.0%	3	134	17.5%
4	京都北都信金	50	6.5%	4	53	6.9%
5	三菱UFJ	42	5.5%	5	40	5.2%
6	三井住友	23	3.0%	6	23	3.0%
7	滋賀	19	2.5%	7	18	2.3%
8	みずほ	17	2.2%	8	17	2.2%
9	南都	13	1.7%	9	13	1.7%
10	商工中金	12	1.6%	10	10	1.3%

順位	サービス業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都	2,258	32.2%	1	2,166	32.9%
2	京都中央信金	1,293	18.4%	2	1,279	19.4%
3	京都信金	800	11.4%	3	778	11.8%
4	三菱UFJ	401	5.7%	4	381	5.8%
5	京都北都信金	367	5.2%	5	361	5.5%
6	三井住友	235	3.4%	6	233	3.5%
7	みずほ	174	2.5%	7	170	2.6%
8	滋賀	153	2.2%	8	151	2.3%
9	南都	115	1.6%	9	109	1.7%
10	ゆうちょ	97	1.4%	10	86	1.3%

順位	不動産業 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都中央信金	827	35.1%	1	811	34.8%
2	京都	608	25.8%	2	606	26.0%
3	京都信金	263	11.2%	3	260	11.2%
4	三菱UFJ	105	4.5%	4	103	4.4%
5	三井住友	91	3.9%	5	90	3.9%
6	滋賀	81	3.4%	6	81	3.5%
7	京都北都信金	65	2.8%	7	63	2.7%
8	みずほ	58	2.5%	8	58	2.5%
9	関西みらい	52	2.2%	9	50	2.2%
10	りそな	44	1.9%	10	46	2.0%

順位	その他 金融機関	2025年		2024年		
		順位	社数	順位	社数	
1	京都	89	26.6%	1	78	24.6%
2	京都中央信金	41	12.2%	2	40	12.6%
3	京都信金	33	9.9%	3	30	9.5%
4	京都北都信金	23	6.9%	4	22	6.9%
5	三菱UFJ	21	6.3%	5	21	6.6%
6	京都農協	19	5.7%	6	18	5.7%
7	京都丹の国農協	9	2.7%	7	9	2.8%
7	三井住友	9	2.7%	7	9	2.8%
7	みずほ	9	2.7%	9	8	2.5%
10	滋賀	8	2.4%	9	8	2.5%

## まとめ

---

調査の結果、上位 3 行庫が 7 割強のシェアを占めるなど、前年と比べて大きな変化はなかった。ただ、府内は金融機関が飽和状態にあり競争激化が続いている。そのため各金融機関は、府外への出店を進めるなど商圏拡大に精力的に取り組む動きがみられる。

業態別では、「信用金庫」「地方銀行」「都市銀行（メガバンク）」がともにシェアを低下させた一方、「ネット銀行」が徐々にシェアを伸ばす結果となっている。手数料の安さや利便性、インターネット通販の普及などで「ネット銀行」を利用する企業が増加傾向にあるとみられる。

他方、地域企業の課題は多様化しており、京都の金融機関は従来の金融サービスにとどまらず、事業承継支援、脱炭素社会の実現に向けた取り組み、スタートアップ支援、地域社会の活性化に資する非金融サービスの提供など、地域貢献のための多様な取り組みを積極的に行ってている。対面による様々なサービスが提供できる金融機関の役割は高まっており、サービスの差別化により、選ばれる金融機関であり続けることが生き残りのカギとなるだろう。